

## 令和2年度 学生便覧(理学部) 正 誤 表

下記のとおり誤りがありましたので訂正いたします。詳細は該当ページをご確認ください。

	該当ページ	訂正箇所等	誤	正	備考
1	[物質地球科学科 物理系] 卒業の要件	Ⅲ. 専門科目に学科共通科目を追加	理学部共通科目 4単位以上	理学部共通科目 学科共通科目 } 4単位以上	備考1も併せて確認すること
2	[物質地球科学科 物理系] 卒業の要件	Ⅲ. 専門科目に学科共通科目を追加	理学部共通科目 4単位以上	理学部共通科目 学科共通科目 } 4単位以上	注**も併せて確認すること
3	[海洋自然科学科 化学系] 卒業の要件	Ⅲ. 専門科目に学科共通科目を追加	理学部共通科目 4単位以上	理学部共通科目 学科共通科目 } 4単位以上	注5も併せて確認すること
4	[海洋自然科学科 生物系] 卒業の要件	Ⅲ. 専門科目に学科共通科目を追加	理学部共通科目 4単位以上	理学部共通科目 学科共通科目 } 4単位以上	注4も併せて確認すること

[物質地球科学科 物理系]

**R2(2020)年度  
学生便覧(物理系)  
※修正箇所朱書表示※**

卒業の要件

I. 共通教育

1. 教養領域

- 健康運動系科目
- 人文系科目
- 社会系科目
- 自然系科目

2単位以上  
2単位以上

2. 総合領域

- 総合科目
- 琉大特色・地域創生科目
- キャリア関係科目

2単位以上

3. 基幹領域

- 情報関係科目
- 外国語科目

英語 8単位以上  
他の1つの外国語 4単位以上

2単位以上  
12単位以上

14単位以上

計 26単位以上

II. 専門基礎教育

必修科目

物理学Ⅰ・Ⅱ<sup>注1</sup>、物理学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ<sup>注2</sup> 9単位

計 9単位以上

III. 専門教育

理学部共通科目  
学科共通科目

4単位以上<sup>注3</sup>

必修科目

34単位以上

選択科目

30単位以上

自由科目<sup>注4</sup>

50単位以上

計 88単位以上

合計 124単位以上<sup>注5</sup>

注1) 高等学校で物理を履修していない者は物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱをとってもよい。

注2) 高等学校で微分・積分を履修していない者は微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学入門Ⅰ・Ⅱをとってもよい。  
また、微分・積分に十分な学力のある者は、微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学ADⅠ・Ⅱをとってもよい。

注3) 基礎ゼミⅠ・Ⅱは必修とする。

注4) 自由科目は、物理系以外の専門科目、および備考1、2により読み替えた科目である。

注5) 124単位を取得するためには、I. 共通教育、II. 専門基礎教育、III. 専門教育の最少単位に加えて、さらに1単位(どの分野でもかまわない)を取得する必要がある。

(備考1) 理学部共通科目及び学科共通科目の合計単位が、4単位を超えた場合、その超えた単位を自由科目の単位とみなすことができる。

(備考2) 健康運動系および外国語科目を除く共通教育および専門基礎教育の授業科目の合計修得単位が21単位を超えたとき、10単位までは専門教育の自由科目の単位として読み替えることができる。

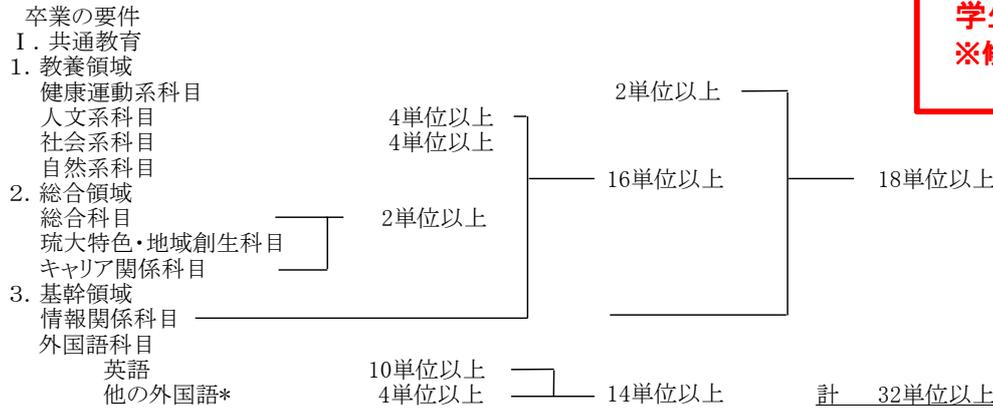
ただし、専門基礎科目の「物理学入門Ⅰ及びⅡ」の2授業科目は除く。

(備考3) 外国人学生の場合には、琉球大学共通教育等履修規程第8条により次の特例を認める。

- (1) 共通教育の人文、社会、自然、総合、キャリア関係、琉大特色・地域創生のうち4単位まで、日本事情科目で読み替えることができる。
- (2) 英語以外の一つの外国語科目(4単位以上)を日本語科目で読み替えることができる。

**[物質地球科学科 地学系]**

**R2(2020)年度  
学生便覧 (地学系)  
※修正箇所朱書表示※**



II. 専門基礎教育

必修科目

地球科学 I・II (4単位必修)  
及び物理学 I・II (又は物理学入門 I・II)、  
化学 I・II (又は化学入門 I・II)の中から4単位

8単位

選択科目

上記必修科目として取得した科目以外の下記専門基礎科目から5単位以上  
物理学 I・II (又は物理学入門 I・II)、物理学実験、化学 I・II (又は化学入門 I・II)、化学実験、  
生物学 I・II、生物学実験、地学実験、微分積分学 ST I・II (又は微分積分学入門 I・II)、  
その他の数学科目

5単位以上  
計 13単位以上

III. 専門教育

理学部共通科目

**学科共通科目** 4単位以上\*\*

必修科目 (本系指定科目) 21単位

選択科目 (本系提供科目でA群4単位以上、B群4単位以上、  
およびC群4単位以上をそれぞれ含むこと) 30単位以上

自由科目 (本系以外での提供科目、但し、夜間主コース科目を除く)

54単位以上

計 79単位以上

合計 124単位以上

\* 同一外国語の4単位以上を含むこと。

\*\* 基礎ゼミ I・II は必修とする。理学部共通科目及び学科共通科目の合計単位が4単位を超えた場合は、その超えた単位を自由科目の単位と見なすことができる。

(備考) 専門基礎教育科目の「微分積分学 ST I・II」、または理学部共通科目の「自然科学のための数学 I・II」のいずれかを履修することが望ましい。

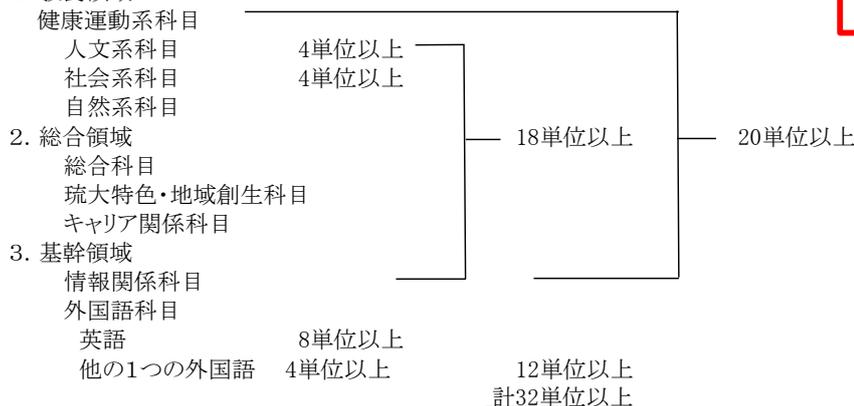
[海洋自然科学科 化学系]

**R2(2020)年度**  
**学生便覧 (化学系)**  
**※修正箇所朱書表示※**

卒業の要件

I. 共通教育

1. 教養領域



II. 専門基礎教育

- 必修科目[化学 I・II、化学実験] 5単位
- 選択科目[微分積分学ST I・II<sup>注1</sup>、  
 線形代数学 I・II、物理学 I・II<sup>注2</sup>、物理学実験、  
 生物学 I・II、生物学実験、地学実験] 9単位以上

計14単位以上

III. 専門教育

- 理学部共通科目<sup>注3</sup> 4単位以上
- 学科共通科目
- 必修科目 34単位
- 選択必修科目<sup>注4</sup> 4単位以上
- 選択科目 24単位以上 36単位以上
- 自由科目<sup>注5</sup>

計78単位以上

合計124単位以上

注1) 高等学校で微分・積分を履修していない者は、微分積分学ST I・IIの代わりに微分積分学入門 I・IIをとってもよい。

また、微分・積分に十分な学力のある者は、微分積分学ST I・IIの代わりに微分積分学AD I・IIをとってもよい。

注2) 高等学校で物理を履修していない者は、物理学 I・IIの代わりに物理学入門 I・IIをとってもよい。

注3) 基礎ゼミ I・IIを含むこと。

注4) AとBからそれぞれ2単位以上修得すること。単位が4単位を超えた場合、その超えた単位を選択科目単位とみなすことができる。

注5) 自由科目とは、理学部化学系以外の系、学科、学部で開講される専門科目である。

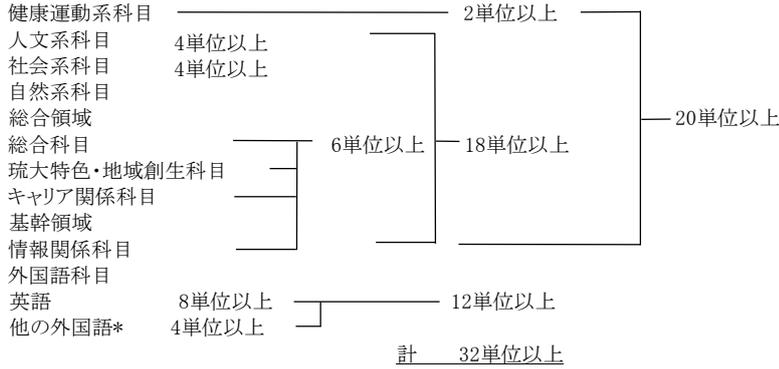
理学部共通科目及び学科共通科目の合計単位が4単位を超えた場合、その超えた単位を自由科目の単位とみなすことができる。

**【海洋自然科学科 生物系】**

卒業の要件

I. 共通教育

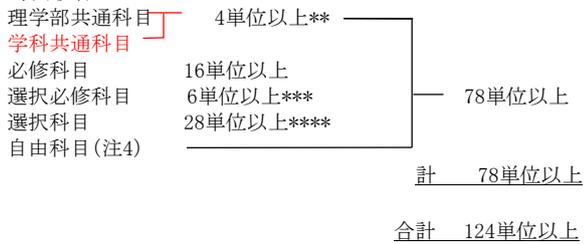
1. 教養領域



II. 専門基礎教育

- 必修科目(生物学実験, 生物学Ⅰ・Ⅱ) 5単位
- 選択科目[化学Ⅰ・Ⅱ(注1), 化学実験, 物理学Ⅰ・Ⅱ(注2),  
物理学実験, 地学実験, 微分積分学STⅠ・Ⅱ(注3),  
線形代数学Ⅰ・Ⅱ, 統計学Ⅰ・Ⅱ] 9単位以上
- 計 14単位以上

III. 専門教育



\* 同一外国語の4単位以上を含むこと。  
 \*\* 基礎ゼミⅠ・Ⅱ、2単位を含むこと。  
 \*\*\* 各講座の提供科目から各2単位以上を取得すること。  
 \*\*\*\* このうち特殊講義は10単位以下であること。各講座の提供科目から各8単位以上を取得すること。  
 注1) 高等学校で化学を履修していない者は、化学Ⅰ・Ⅱの代わりに化学入門Ⅰ・Ⅱをとってもよい。  
 注2) 高等学校で物理学を履修していない者は、物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱをとってもよい。  
 注3) 高等学校で微分積分を履修していない者は、微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学入門Ⅰ・Ⅱをとってもよい。  
 注4) 自由科目とは、理学部生物系以外の系、学科、学部で開講される専門科目である。  
 理学部共通科目及び学科共通科目の合計単位が4単位を超えた場合、その超えた単位を自由科目の単位とみなすことができる。